

● 会員に対する処分の執行について

審査委員会における会員の処分を求める決議が確定したため、会則第 53 条第 1 項の規定に基づき、当該会員に対して、下記のとおり処分を執行しましたので、同条第 2 項の規定によりその旨を公表します。

1. 処分を受けた会員

河原 秀樹会員（登録第 20402 号）

2. 処分の種別

日本弁理士会会則により会員に与えられた権利の 2 年間の停止  
（日本弁理士会会則第 49 条第 2 項第 2 号）

3. 処分の理由の概要

当該会員は、平成 28 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日までの期間に継続研修を履修し、所定の単位を取得しなければならないところ、その義務を履行しなかったことから、令和 3 年 11 月 30 日に「戒告」、令和 4 年 12 月 15 日に「日本弁理士会会則によって会員に与えられた権利の 6 月の停止」及び令和 6 年 4 月 3 日に「日本弁理士会会則によって会員に与えられた権利の 1 年の停止」の処分を受け、処分執行の日から 6 月以内に処分の理由となった不足単位数を履修すべきところ、令和 6 年 10 月 3 日に至っても履修を完了しなかった。

当該会員は、綱紀委員会の調査及び当委員会の審査における口頭説明の機会や意見陳述の機会に対しても何ら応答しておらず、当該会員から何らの主張もなされない以上、履修しないことにやむを得ない事情があったと認めることはできない。

以上により、当該会員の行為は、弁理士法第 31 条の 2、弁理士法施行規則第 25 条、会則第 57 条第 2 項及び会則第 57 条の 2 に違反し、これにより本会の秩序又は信用を害したものであるから、会則第 49 条第 1 項に基づき処分をすべきものと認め、「日本弁理士会会則によって会員に与えられた権利の 2 年の停止」の処分とする。

4. 処分の執行日

令和 7 年 11 月 7 日